

Ⅲ. 市民公開講座

市民公開講座

◎心肺蘇生法の一般人への普及 ―親と子供で出来る心肺蘇生― 命の教育

国土舘大学 体育学部スポーツ医科学科 教授 田中 秀治

平成 18 年 11 月 12 日（木） 国土舘大学教室管理棟 201 教室・実習 C 棟 1 階実習室

◎大阪における院外心停止の現状と対策について

国立循環器病センター 緊急部長 部長 野々木 宏

平成 19 年 1 月 14 日（日） 千里朝日阪急ビル A&H ホール

◎市民による AED 使用の普及について

獨協医科大学 心血管・肺内科学 講師 菊地 研

平成 19 年 1 月 27 日（土） 獨協医科大学創立 30 周年記念館関湊記念ホール

◎大動脈瘤破裂から命を守る

国立循環器病センター 心臓血管外科 医長 荻野 均

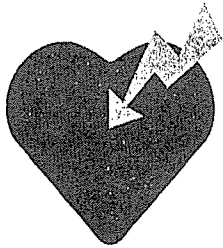
平成 19 年 3 月 24 日（土） 国立循環器病センター 図書館講堂

市民公開講座

あなたの勇気が命を救う

心臓突然死の実態とその対策

心臓マッサージとAEDでつなぐ
命の輪キャンペーン



AED

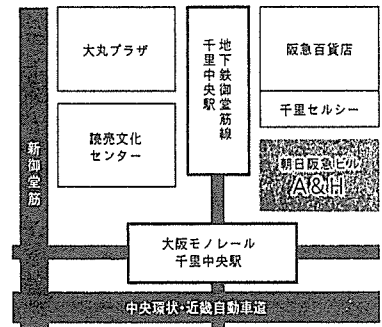
家庭や学校、職場、路上など病院の外で起こる突然の心停止(院外心停止)の状況と院外心停止に対する活動について、分かりやすく説明するとともに、一般市民の方も使用できる自動体外式除細動器(AED)について解説します。

日時：平成19年1月14日(日) 午後2時～4時

会場：千里朝日阪急ビル4階 A&Hホール

☎06-6873-2607

大阪モノレール/千里中央駅(直結)
北大阪急行/千里中央駅下車 徒歩1分



AEDと簡単な心肺蘇生法体験コーナーもあります

座長：野々木 宏 (国立循環器病センター心臓血管内科・緊急部)

演題と講師：

「高槻における救命対策について：高槻キャンペーン」 森田 大 (大阪府三島救命救急センター所長)

「大阪府におけるウツタイン登録の状況について」 行岡秀和 (行岡医学研究会行岡病院副院長)

「関東における救命対策について：SOS-KANTOの取り組み」 長尾 建 (日本大学医学部救急医学助教授)

「J-PULSEと誰にでもできる新しい心肺蘇生法について」 石見 拓/西山知佳 (国立循環器病センター)

「心肺蘇生法の一般普及への取り組み——小中学校教育内への『命の教育』」 田中秀治 (国士舘大学大学院救急救命システムコース主任教授)

主催：国立循環器病センター、厚生労働科学研究班 (J-PULSE)

共催：財団法人循環器病研究振興財団、吹田保健所、

吹田母子会 (社団法人大阪エイフボランタリーネットワーク吹田支部)

後援：大阪府、大阪府医師会

〈問い合わせ・連絡先〉

J-PULSE <http://j-pulse.umin.jp/>

国立循環器病センター (野々木)

☎06-6833-5012 (代表)

あなたの勇気が命を救う 心臓突然死の実態とその対策

家庭や学校、職場、路上など病院の外で起こる突然の心停止（院外心停止）の状況と院外心停止に対する活動についてわかりやすく説明するとともに、一般市民の方も使用できる自動体外式除細動器（AED）について解説いたします。

日時：平成19年1月14日（日）14時～16時

会場：千里朝日阪急ビル 4F A&Hホール

大阪モノレール 千里中央駅 徒歩5分

座長：野々木 宏（国立循環器病センター 心臓血管内科・緊急部）

- 演題**
- ・高槻における救命対策について：高槻キャンペーン
森田 大 先生（大阪府三島救命救急センター 所長）
 - ・大阪府におけるウツタイン登録の状況について
行岡 秀和 先生（行岡医学研究会行岡病院 副院長）
 - ・関東における救命対策について：SOS-KANTOの取り組み
長尾 建 先生（日本大学医学部 救急医学 助教授）
 - ・J-PULSEと誰にでもできる新しい心肺蘇生法について
石見 拓 先生 / 西山 知佳 先生（国立循環器病センター）
 - ・心肺蘇生法の一般普及への取り組み—小中学校教育内への「命の教育」
田中 秀治 先生（国士舘大学大学院救急救命システムコース 主任 教授）

AEDと簡単な心肺蘇生法体験コーナーもあります。

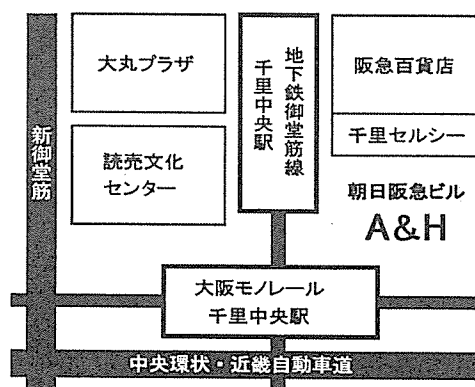
**主催：国立循環器病センター
厚生労働科学研究班（J-PULSE）**

**共催：吹田保健所
社団法人大阪エيوفランタリーネットワーク吹田支部
吹田母子会**

**後援：大阪府
大阪府医師会**

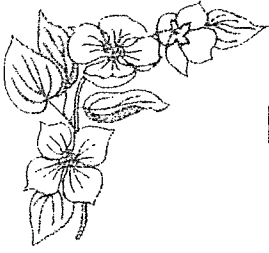
**<お問い合わせ・連絡先>
国立循環器病センター
心臓血管内科 野々木宏
〒565-8565
大阪府吹田市藤白台5丁目7番1号
TEL:06-6833-5012(代表)**

J-PULSE <http://j-pulse.umin.jp/>



A&Hホール

豊中市新千里東町1-5-3 千里朝日阪急ビル4F
TEL:06-6873-2607



「市民公開講座」プログラム

平成19年1月14日(日)

14:00 ~ 16:00

千里朝日阪急ビル4F A&Hホール

1. 座長挨拶 野々木 宏
(国立循環器病センター 心臓血管内科・緊急部 部長)
2. 第1部 (14:10 ~ 14:55)
「高槻における救命対策について：高槻キャンペーン」
森田 大 先生 (大阪府三島救命救急センター 所長)
「大阪府におけるウツタイン登録の状況について」
行岡 秀和 先生 (行岡医学研究会行岡病院 副院長)
「関東における救命対策について：SOS-KANTOの取り組み」
長尾 建 先生 (日本大学医学部 救急医学 助教授)
3. 休憩 (14:55 ~ 15:10)
4. 第2部 (15:10 ~ 15:40)
「J-PULSEと誰にでもできる新しい心肺蘇生法について」
石見 拓 先生、西山 知佳 先生 (国立循環器病センター)
「心肺蘇生法の一般普及への取り組み—小中学校教育内への「命の教育」」
田中 秀治 先生
(国土館大学大学院救急救命システムコース 主任 教授)
5. 閉会挨拶 野々木 宏

ホールロビーにてAEDの体験コーナーや簡便な心肺蘇生法の解説、また吹田保健所、吹田母子会のパネル展示をご用意させて頂いております。是非ご覧になって下さい。

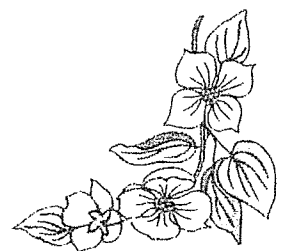
(16:30 まで)

主催：国立循環器病センター
厚生労働科学研究班 (J-PULSE)
後援：大阪府
大阪府医師会

共催：財団法人循環器病研究振興財団
吹田保健所
社団法人大阪エイフボランティアネットワーク吹田支部
吹田母子会

◆ 心肺蘇生法の方法や班研究の詳細はホームページをご覧ください。

<http://j-pulse.umin.jp/>



研究成果等普及啓発事業
発表会（循環器疾患等生活習慣病対策総合研究）

開催結果報告書

1、発表会開催者

所属・職名 : 国立循環器病センター 心臓血管内科部長／緊急部長
氏 名 : 野々木 宏

2、開催日時 : 平成19年1月14日（日） 14時00分～ 16時00分

3、開催場所

名 称 : 千里朝日阪急ビル4階 A&Hホール
所 在 地 : 大阪府豊中市新千里東町1丁目5-3

4、参加者数 : 130名

5、発表テーマ : 「あなたの勇気が命を救う
心臓突然死の実態とその対策」

6、発表内容

厚生労働科学研究班の目的に則し、市民への心肺蘇生法と自動体外式除細動器（AED）使用に関する啓発のため「あなたの勇気が命を救う 心臓突然死の実態とその対策」のテーマで公開講座を開催した。

- 1) 座長挨拶 野々木 宏（国立循環器病センター 心臓血管内科・緊急部 部長）
座長より、院外心停止に対するAEDの解説と導入の重要性を導入部分として話をし、6名の方からテーマ毎に発表いただいた。
- 1) 座長挨拶 野々木 宏（国立循環器病センター 心臓血管内科・緊急部 部長）
座長より、院外心停止に対するAEDの解説と導入の重要性を導入部分として話をし、6名の方からテーマ毎に発表いただいた。

- ① 「高槻における救命対策について：高槻キャンペーン」
森田 大 先生（大阪府三島救命救急センター 所長）
「あなたの勇気が命を救う」というキャンペーンの効果と講習会の重要性、またAED設

置運動により私鉄主要駅、JR等の公共スペースへの設置を行政を含めた円卓会議により推進したと市民へわかりやすくアピールした。

② 「大阪府におけるウツタイン登録の状況について」

行岡 秀和 先生 (行岡医学研究会行岡病院 副院長)

1998年から開始された大阪ウツタイン登録事業の開始の経緯とその活動状況を説明し、得られた重要なデータについてわかりやすく解説した。今後も大阪府として継続することの重要性が強調された。

③ 「関東における救命対策について：SOS-KANTOの取り組み」

長尾 建 先生 (日本大学医学部 救急医学 助教授)

2002年から大阪の活動に準じて、東京においてもウツタイン登録を開始し、重要な解析データを呈示した。救命には、胸骨圧迫(心臓マッサージ)のみが通常の心肺蘇生法よりも成績が良好なことが示された。

④ 「J-PULSEと誰にでもできる新しい心肺蘇生法について」

石見 拓 先生、西山 知佳 先生 (国立循環器病センター)

大阪からのウツタイン登録データから、心停止時に発見者による心肺蘇生法の実施率が経年的に増加しているが、なお40%以下であり、その原因として方法が複雑であることがあげられ、心臓マッサージのみでも同等の救命率であることが示された。そのため、今後モデル地区をつくり心臓マッサージのみの蘇生方法の普及啓発をはかる試みが紹介された。

⑤ 「心肺蘇生法の一般普及への取組み—小中学校教育内への「命の教育」—

田中 秀治 先生

(国士舘大学大学院救急救命システムコース 主任 教授)

心肺蘇生法の普及には、学校教育が重要であることが示され、45分授業の2単位での教育としての座学と1人1体の人形を使用した授業風景が紹介された。小学校高学年から中学高校と繰り返し、蘇生法の重要性と実習が指導されれば、一般市民への普及は今後格段に進展すると強調された。

2) ホールロビーにてAEDの体験コーナーや簡便な心肺蘇生法の解説、また吹田保健所、吹田母子会よりパネル展示の用意をした。

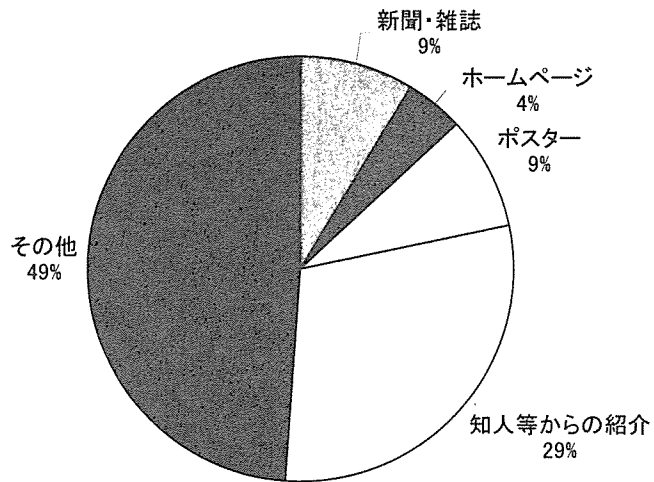
公開講座の通知としてチラシ2500部を作成し、9消防本部、6医師会、4保健所、患者団体、2教育委員会へ配布。また、新聞、地域情報誌、地域情報ホームページにて開催通知を行った。参加者は約120名、資料として厚生労働科学研究(J-PULSE)にて作成したAED普及啓発パンフレット(3社)公開講座用に作成した心肺蘇生法の手順を印刷したオリジナルクリアファイル、循環器病研究振興財団のパンフレット・循環器病あれこれ(55番)を配布した。また、AEDの体験コーナー3箇所設置し、休憩時間を利用し、簡便な心肺蘇生法とAED使用法の解説とトレーニングを行った。

7、発表会の成果

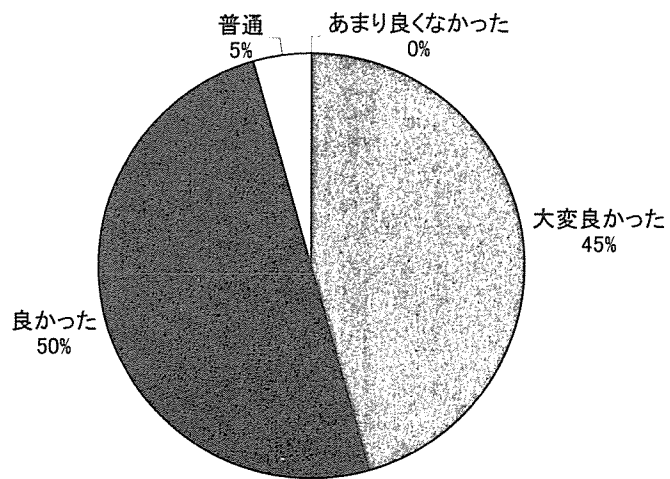
3年間の成果発表会として、院外心停止登録の重要性、得られたデータから我が国における実態をわかりやすく解説し、そこから得られた対策を実際に市民レベルで実施可能な形での提言を行った。ビデオ、パンフレットなど視覚的にわかりやすい工夫も取り入れ、効果的な市民公開講座が開催でき、目的が達成し得たと考えられる。

アンケート集計結果

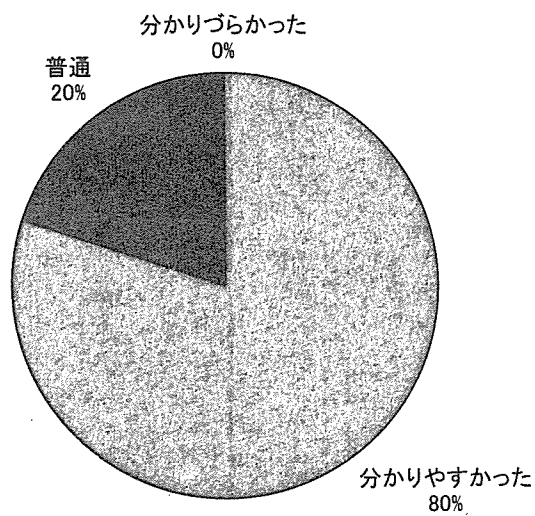
今回の発表会(講演会)を何で知りましたか



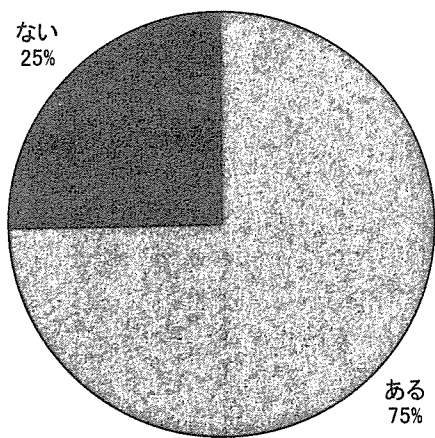
今回の発表会(講演会)はいかがでしたか



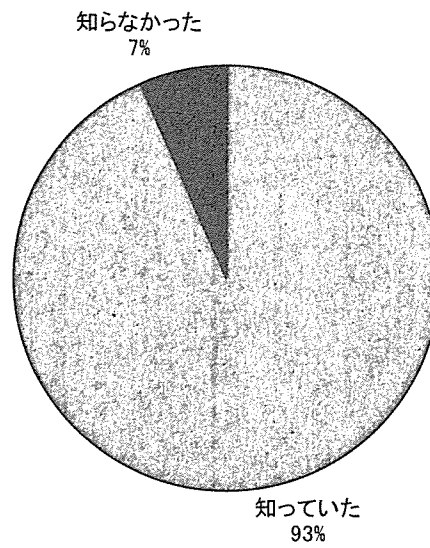
発表内容はいかがでしたか



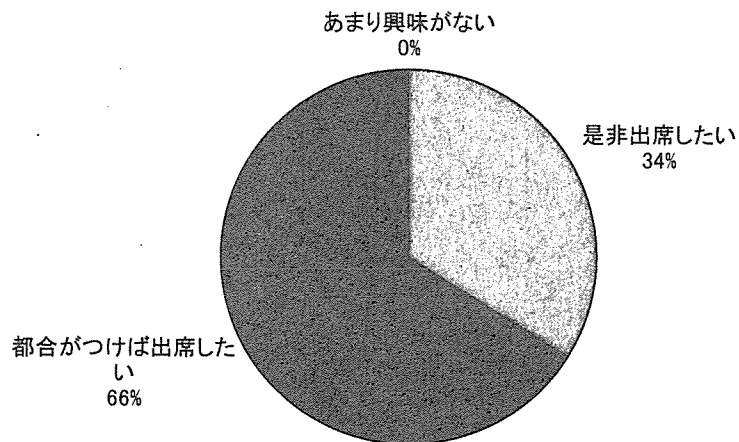
心肺蘇生法を習ったことがありますか



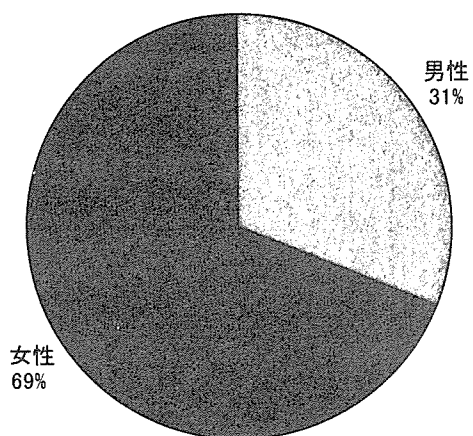
AEDをご存知でしたか



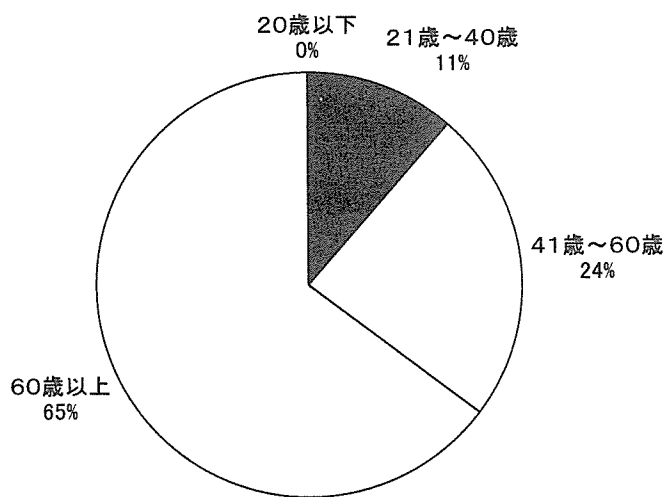
またこのような発表会(講演会)に出席したいと思いますか



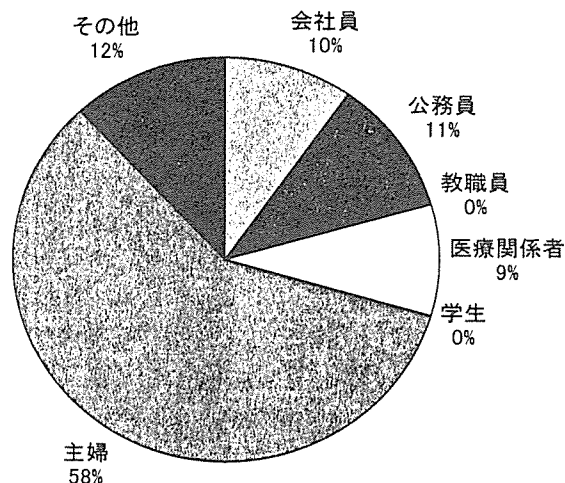
あなたの性別をお聞かせください



あなたの年齢をお聞かせください



あなたの職業等をお聞かせください



ご意見ご要望など

- ・ このような講習会は大変いい事だと思います。年に1～2回開催して欲しい。多くの方に広めることが肝要だと思います。(男性 その他)
- ・ 別世界の事が判って大変参考になりました。自分自身にも他人に対しても手助けになりたいと思いました。ありがとうございました。(女性 主婦)
- ・ 心臓マッサージと胸骨圧迫の違いは？(男性 会社員)
- ・ 学校での教育の必要性が理解できて良かった(男性 公務員)
- ・ 大変勉強になりました。心肺蘇生法、胸骨圧迫など体験することができました。(女性 主婦)
- ・ 救命救急を学校で教育することの重要性を感じました。(女性 医療関係者)
- ・ 小中学校で教える事は本当に良い話だと思いました。(女性 主婦)
- ・ 中学校、高校等で必ず教えるようにして欲しい。(女性 主婦)
- ・ 救命活動に積極的に参加したいと思います。(男性 その他)
- ・ データが豊富で大変わかりやすかった。ありがとうございました。(男性 公務員)
- ・ そういう場に遭遇した時には勇気を持ってしたいと思います。(女性 主婦)
- ・ 非常にわかりやすい内容でした。(男性 公務員)
- ・ 非常に分かりやすく、勉強になりました。(男性 公務員)
- ・ 小中学生に講習会をされているとの事、とても良いことだと思いました。どんどん広がれば良いのと思いました。(女性 主婦)
- ・ 思っていた程大変なことではなく、一般の人でも参加可能な事を知り、色々有益な事を知りました。(女性 主婦)

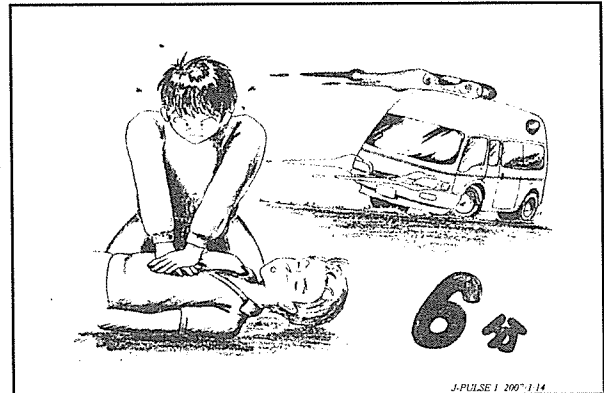
- ・ 循環器病院のすぐそばに住んでいますが、病院がもっと開かれた場所として地域に出前で講習を(救命等)していただきたく思います。(女性 主婦)
- ・ 大変わかり易く、構成も良く(大阪市の現況から始まり、関東の取り組み、具体的な AED の利用法、講習の状況、そして命の教育)興味深かったです。命の教育が行われていることに大変感銘

高槻市における救命対策について
 —“あなたの勇気が命を救う”キャンペーン—

AEDを配備する社会基盤整備の一環として

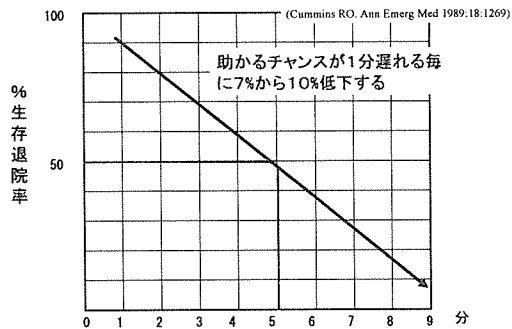
大阪府三島救命救急センター
 森田 大

J-PULSE 1 2007-114



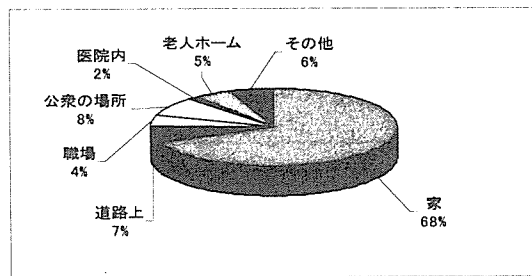
J-PULSE 1 2007-114

突然倒れてから電気ショック実施までの時間と生存率



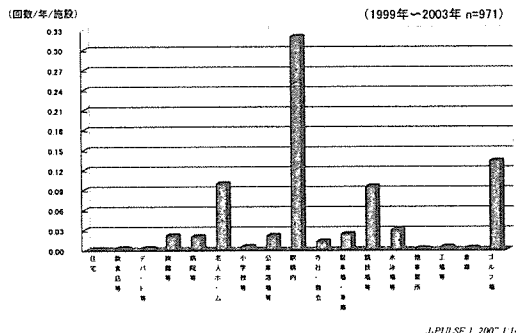
J-PULSE 1 2007-114

心原性の院外心停止のおもな発生場所



J-PULSE 1 2007-114

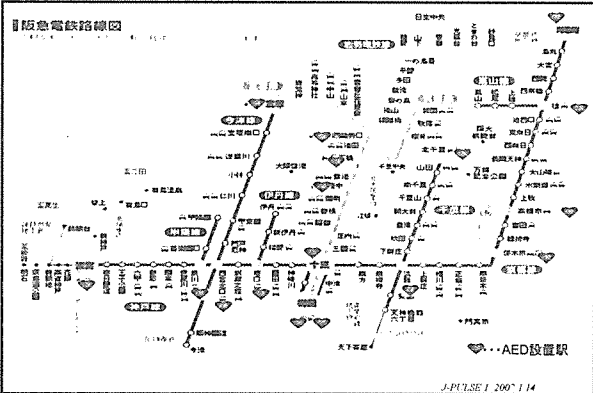
高槻市内にある施設の年間平均心停止発生割合



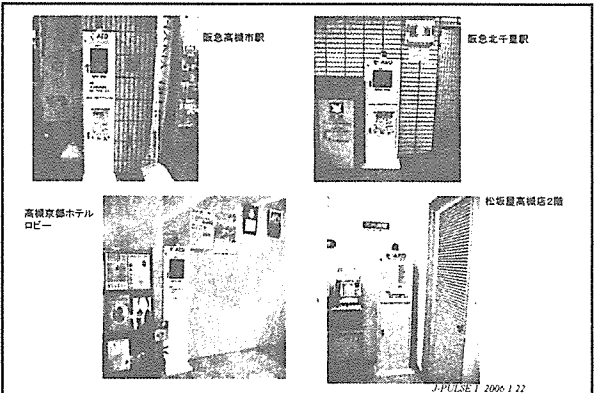
J-PULSE 1 2007-114

高槻市におけるAED設置のための円卓会議





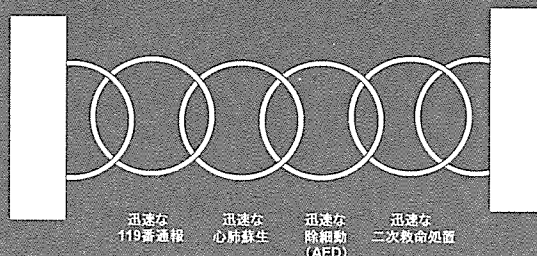
<ul style="list-style-type: none"> 高槻駅 高槻西口 高槻南口 高槻北口 高槻東口 高槻西口 高槻南口 高槻北口 高槻東口 	<ul style="list-style-type: none"> 高槻駅 高槻西口 高槻南口 高槻北口 高槻東口 高槻西口 高槻南口 高槻北口 高槻東口
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



大阪府におけるウツタイン登録 の状況について (ウツタイン大阪プロジェクトより)

行岡医学研究会行岡病院 副院長
行岡秀和

救命の連鎖



背景

約15年前、わが国の病院外心停止患者の救命率は
欧米先進国と比較して、極端に低いと信じられて
いた。

しかし、これは本当であろうか？

共通の尺度に基づいた国際比較はなされていなか
った。

ウツタイン様式とは？

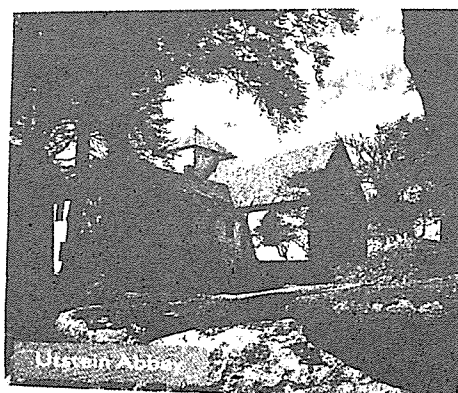
病院外心肺蘇生に関する用語・定義の不統
一をなくし共通の尺度で蘇生率を検討し、
心肺蘇生に関する国際的な比較検討を促進
するためのガイドライン

ウツタイン様式ができるまでの経過

- 1) 1990年6月
第1回国際蘇生会議が ノルウェーの小島にある
ウツタイン修道院で開催された

アメリカ心臓協会 (The American Heart Association)
ヨーロッパ蘇生会議 (The European Resuscitation Council)

- 2) 1990年12月
第2回国際蘇生会議が 英国で開催された
上記に加えてカナダ・オーストラリアも参加



わが国の救急医療システムの整備

1991年 救急救命士制度

特定行為

1) 器具を使用した気道確保(食道閉鎖式エアウェイ、
ラリゲアルマスク)

気管挿管(2004年7月より許可)

2) 除細動(2003年4月より包括化)

3) 輸液のための静脈路確保(乳酸リンゲル液)、
エピネフリン静注(2006年4月より許可)

気管挿管・薬剤投与実施状況(大阪市)

	2004年	2005年	2006年
救急隊が搬送した 全心肺停止傷病者数	1,900人	2,047人	2,075人
気管挿管認定救急救命士数	9人	23人	32人
気管挿管実施数	12件	134件	200件
薬剤投与認定救急救命士数			75人
薬剤投与実施数			110件

*2006年の数値は概数

*気管挿管は2004年8月から、薬剤投与は2006年4月から運用開始

*各認定救急救命士数は、各年12月31日の人数

ウツタイン大阪プロジェクト

1) 1996年7月、日本救急医学会近畿地方会に心肺蘇生に
関する統計基準検討委員会が設けられた

2) 本委員会は大阪府下の三次救急医療機関と代表消防
機関の委員で成り立っている

3) ウツタイン様式を実施するには救急医療にかかわる
医師と救急隊員の積極的な協力が必要である

委員会の活動

・「病院外心停止事例の記録を統一するためのガイドライン
ウツタイン様式」(Circulation.1991)の日本語版を作成

・病院外心肺停止患者記録票(大阪版)作成

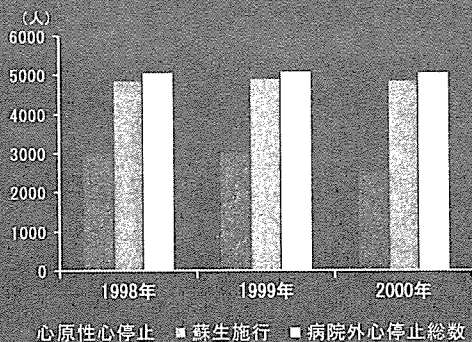
・病院外心肺停止患者記録(大阪版)記載要領作成



1998年5月より

大阪府下全域で病院外心肺停止患者記録を開始
(ウツタイン大阪プロジェクト)

救急隊員の関わった 病院外心停止症例数の年度別推移



月別の病院外心停止発生数

